

SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>2026年5月27日

事業者情報					
事業者名		レスク株式会社			
代表者 職・氏名	職名	代表取締役			
	氏名	鈴木大介			
ホームページ URL (任意)		https://www.rescgroup.com			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
<p>自然災害に強く、カーボンニュートラルで、電動モビリティが普及した次世代型スマートシティが実現された社会づくりに貢献する AI 駆動型バッテリープラットフォーム</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を實現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に
			●	●	
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任
○	●	○	●	○	○
 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	
○			●	○	

目標の達成に向けた重点的な取組内容等			
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)	SDGsゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)	目標の達成に向けた重点的な取組	
①	経済	✓	AI 駆動型バッテリープラットフォームによる海外市場展開： 当社は、40 カ国と地域で権利化された独自特許に基づく AI 駆動型バッテリープラットフォームを中核として、e-モビリティ、スマートグリッド、再生可能エネルギー活用を統合する事業モデルの海外展開を進める。SaaS/PaaS、技術ライセンス、共同開発、現地パートナーとの水平分業型バリューチェーンを通じ、持続可能な新産業の創出、国際的な事業基盤の構築、現地企業・人材とのパートナーシップ形成に取り組む。
	社会	✓	
	環境	□	
②	経済	✓	脱炭素・レジリエンス・資源循環を統合したスマートシティ基盤づくり： 蓄電池機能付きバッテリー交換ステーションと、屋根置き型太陽光発電等の再生可能エネルギーを連携させ、バッテリー充電時の再エネルギー向上、電力需給調整、ピークシフト、災害時の非常用電源供給を可能にするエネルギーサービスの実現を目指す。あわせて、バッテリーの状態評価、劣化度予測、再利用・リサイクル判断、GHG 排出量算定、LCA/CFP、カーボンクレジット等を統合するバッテリー・ライフサイクル管理の仕組みを構築し、脱炭素化、地域レジリエンス強化、資源循環、廃棄物削減に貢献する。
	社会	✓	
	環境	✓	
③	経済	✓	海外展開と SDGs 経営を両立する持続可能な国際的組織体制づくり： 当社は、40 カ国と地域で権利化された独自特許に基づく AI 駆動型バッテリープラットフォームを海外展開する段階に入りつつある。一方で、今後の本格的な海外市場進出に向けては、創業者個人に依存しない国際的な組織体制、法令遵守、情報セキュリティ、品質管理、環境マネジメント、人材育成、ガバナンス体制の整備が重要課題である。日本・海外の人材、外部専門家、現地パートナー、金融機関、公的支援機関等と連携し、知識・ノウハウの文書化、権限移譲、多様な人
	社会	✓	
	環境	□	

				材の活用、持続的な意思決定体制の構築を進める。東京都中小企業振興公社のハンズオン支援も活用し、海外市場進出と SDGs 経営を両立する、創業者亡き後も成長し続ける未来的な国際組織体制の構築を目指す。
--	--	--	--	---

進捗報告			
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①			
②			
③			